



= 記念事業 = 西地区保護司会・西地区更生保護女性会創立40周年 記念式典・祝賀会

4月11日(木) ANA クラウンプラザホテル広島において、ご来賓をはじめ168名の多くの皆様のご出席により盛大に式典・祝賀会が開催されました。

昭和55年4月、広島市の政令指定都市移行に伴い区制となり、保護区も改編され、西地区保護司会、西地区更生保護女性会として新たなスタートをし40周年を迎えました。また更生保護制度施行70周年でもあります。

これからも更生保護発展のために、「社会を明るくする運動」をはじめ諸活動を通して犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に向けて、保護司会と連携を保ち、会員の皆様と力を合わせていきたいと思ひます。



(オープニング演奏 坂直さん)



(お祝いのことば 瀧澤広島保護観察所長)



(記念品のお菓子)

= 令和元年度事業 = 会員の皆さんと取り組みました



総会

4月24日(木)広島・西区更生保護サポートセンターにおいて、会員60名が出席して第40回総会を開催し、平成30年度活動報告・決算報告、令和元年度活動計画・予算が承認されました。

併せて、成田広島保護観察所次長の講話「更生保護女性会の役割」を伺いました。 [令和元年度会員数265名]

会員の集い

令和2年1月30日(木)広島ダイヤモンドホテルにおいて、80名の参加により令和初の集いを開催しました。

ご来賓の方からの新年度の取組の紹介、コーラス部「それいゆ」や全員参加による歌唱など、気持ちを新たにするとともに親睦を深める機会となりました。



ミニ集会・子育て支援活動 ～地域において～

“更生の心を地域の皆様に伝える架け橋”として、各分会において保護司会と連携して、ミニ集会の開催や子育て支援の活動に取り組みました。



ミニ集会は7月の「社会を明るくする運動強調月間」を中心に

- ・小学校校長先生から子ども

達の状況について

- ・地域で活動されている方から子ども達の居場所について
- ・警察署から犯罪状況について



などのお話を伺いました。

子育て支援は、

- ・西区民まつりにおいて紙芝居「ミミちゃんのとてとて」（欲しくても盗ってはいけないと教える内容）と折り紙
- ・保育園での絵本「コウくとときいろいはね」の読みきかせ

を行いました。

ふくしま地区文化祭に初めて参加し、紙芝居と折り紙を行いました。



西区民まつり

11月3日(日)第35回西区民まつりに参加しました。子育て支援の紙芝居で参加するようになり、今回は



「ミミちゃんのとてとて」「アンパンマンとばいきんまん」を保護司の方の協力もいただいて行い、ご家族を

含めて100名を超える参加がありました。

また折り紙のコマ作りは挨拶から始まり最後まで諦めず、出来上がる楽しさを体験してほしいと思いつながって行っています。

遊休品バザー、コーヒー・胡麻や昆布などの物資販売を行い、会の活動に役立てています。



「愛のたより」募金贈呈式

9月2日(月)広島保護観察所において、広島市8地区における募金を広島県更生保護協会など5団体に贈呈しました。立ち直ろうとする人と家族をつなぐ“たより”としてハガキを贈ったことに始まり、50年以上続いています。



ウイズ広島 給食づくり

5月16日(日)第3分会会員5名が、また令和2年2月20日(日)は第4分会会員6名が更生保護施設「ウイズ広島」で給食づくりを行いました。



(5/16 給食づくり)



(献立)

〔更女会員感想〕

喜んで食べていただけるよう献立を考え、心を込めて調理しました。食事は各テーブルに会員が1名ずつ入り、和やかな一時を過ごしました。

会員研修

9月26日(休)会員30名が参加して、広島拘置所を参観しました。総務部長から矯正の機構、再犯防止に向けた総合対策、地域社会とともに開かれた矯正への取組などについてお話を伺いました。



〔更女会員感想〕

- ・総務部長の温かな語り口の中にも厳しさを感じさせられました。
- ・刑務所と拘置所の違いをよく理解できました。
- ・短い時間でしたが中身の濃い研修でした。
- ・会員の方々との久しぶりのおしゃべりと美味しいランチもあり、貴重な機会をいただきました。



コーラス部「それいゆ」



会員増強の思いで昭和60年に誕生した「それいゆ」。

現在は木村美子先生のもと30余名の会員が楽しく活動しています。

本年度も「会員の集い」などで、発表活動を行いました。

練習日

第1・3木曜日 午後1:30～3:30

場所

広島・西区更生保護サポートセンター



社会を明るくする運動 ～保護司会・BBS会との共同～

「社会を明るくする運動」は保護司会などとの共同活動で、69回を数えました。

運動強調月間の7月は、1日(月)にアルパーク東棟時計の広場において、内閣総理大臣メッセージ伝達式が

行われ、またJR横川駅前などの各所で啓発活動が行われました。会員の皆様にも「愛のたより」募金でご協力をいただきました。

“社会を明るくする運動”
作文・標語コンテストも行われ、西地区では作文小学校の部は1,313作品、同中学校の部は336作品、標語中学校の部は725作品の参加がありました。子ども達の関心も高まっています。



(内閣総理大臣メッセージ伝達
平口法務副大臣から福岡推進委員長(西区長)へ)



社会貢献活動

社会貢献活動とは、保護観察中の方が活動を行うことを通じて立ち直ることを目的に行うもので、保護観察所職員、保護司、BBS、更女も参加しています。

8月21日(休)己斐小学校において第3・第4分会会員各1名が、また11月15日(金)いきいきプラザにおいて第5・第6分会会員各1名が施設のトイレ清掃に参加しました。

被表彰者 =受賞おめでとうございます=

法務大臣感謝状	砂原 一夢		
日本更生保護女性連盟会長表彰	久村由美子		
中国地方更生保護委員会委員長感謝状	月村 佳子	柁谷 裕子	佐藤 節子
中国地方更生保護女性連盟会長表彰	香川久美子	横山真知子	田中 武子
	藤島 富子	平井美津子	保井五百子
	仁井田露子	紺田 君江	本西 昭子
広島保護観察所長感謝状	長谷川啓子	庄司美代子	小河 幸子
	中本 敦子	星野 幸子	山本加代子
	三宅 芳枝	瀬戸 洋	西尾 久子

会計報告

令和元年度収支決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

〔一般会計〕

〔収入の部〕		(単位 円)	〔支出の部〕		(単位 円)
項	目	令和元年度 決算額	項	目	令和元年度 決算額
会費		530,000	事務費		161,296
	会費	530,000		会議費	78,881
研修参加費		0		事務諸費	82,415
	研修参加費	0	分担金		239,800
助成金		6,000		県更女	212,800
	助成金	6,000		市更女	5,000
事業収入		185,572		ウィズ広島	12,000
	広報物資	160,072		コミュニティ交流協議会	5,000
	社明パネル	25,500		県就労支援事業者機構	5,000
雑収入		64,921	事業費		155,750
	資産収入	4,027		研修費	51,300
	雑収入	60,894		行事費	70,450
繰入金		400,000		社明活動費	34,000
	繰入金	400,000	記念行事費		400,000
繰越金		319,433		記念行事費	400,000
	前年度繰越金	319,433	慶弔費		10,800
合計		1,505,926		慶弔費	10,800
			関係機関 会合費		117,500
				日更女の集い参加費	100,000
				各種会合参加費	17,500
			積立金		100,000
				積立金	100,000
			予備費		0
			支出計		1,185,146
			次年度繰越金		320,780
			合計		1,505,926

収入総額	1,505,926円
支出総額	1,185,146円
差引金額	320,780円

〔愛のたより〕

〔収入の部〕		(単位 円)
項	目	令和元年度決算額
愛のたより		608,885
共催金		50,000
雑収入		0
合計		658,885

(支出の部) (単位 円)

項	目	令和元年度決算額
ウイズ広島		210,000
呉清明園		10,000
広島県更生保護協会		20,000
広島県薬物乱用防止指導員 広島市地区協議会		10,000
広島市地区BBS会		10,000
社明広報活動費		263,880
犯罪予防活動費		85,747
事務雑費		4,473
支出計		614,100
繰出金		44,785
合計		658,885

収入総額	658,885円
支出総額	614,100円
差引金額	44,785円

(注) 令和2年度総会で承認された後、確定します。

表題解説

この機関紙の表題は、万葉集に収められている次の短歌の一節から採っています。

天平5年癸酉、遣唐使の船、難波を発ちて海に入るとき、母の子におくれる歌(反歌)

“旅人の宿りせむ野に霜降らば
わが子はぐくめ天の鶴群(たづむら)”
通釈：遠く旅立ってゆく遣唐使の一行が野宿する折もあろうが、その野にもしも霜が降りたならば、その時は天空を飛ぶ鶴の群よ、どうか羽をひろげてわが子をかばい守ってくれ。

古来、子を思う親心は「夜の鶴」などと表現されます。上記の短歌では、いとしいわが子を遠い旅に手離してやる母心の真情が切実に示されていますが、その母心が託されているのが鶴の群です。

(表題の字は会員の作品を使用しています。)

役員

=会員の皆様、ご協力
ありがとうございました=

顧問	織建 末子	理事	浅田 慶子
会長	田中 武子		藤田 典子
副会長	大野 澄江		山田真知子
	宮本 良子		田中 武子
	東 真由美		山下 雅子
書記	光田登喜子		高島 盈子
会計	久村由美子		松尾千代子
監事	山木 路子		菊川 光子
	本西 恭子		豊島 祐子
			平口さとみ
			鍛冶山好恵

あとがき

記念誌「鶴群」の趣旨を引き継いだ上で、機関紙として4月から翌年3月までの事業を掲載し、毎年度発行することにしました。活動への理解を深め、今後の参考にさせていただければ幸いです。

発行 西地区更生保護女性会 電話・FAX (082)277-4528